

## 02. 事業別情報 | セグメント概要

セグメント	事業	事業概要
ドライバルク	鉄鋼原料事業 / バルクキャリア事業	鉄鋼原料、鉄鋼製品（鋼材）、製紙原料、穀物、石炭などの梱包しない大量の乾貨物をばら積み（バルク）輸送する事業。日本向けの輸送に加え、韓国、中国、インドや中東のほか、大西洋水域での三国間輸送も積極的に展開。ドライバルク事業ユニットでは風力利用やバイオ・LNG・メタノール・アンモニア燃料など低炭素・脱炭素化に挑戦。
	油槽船事業 / 燃料事業	油槽船事業において原油やLPGの海上輸送を行う国内外の傭船者向けにグローバルな船主事業を展開。燃料事業においては燃料（重油、軽油、LNG、バイオ燃料など）調達に加え、LNG・アンモニア燃料供給事業や液化水素運搬船の事業検討にも取り組み、環境負荷の低減に貢献。
	エネルギー資源	電力事業 / 海洋事業
製品物流	LNG船事業 / カーボンソリューション事業	LNG船事業は世界的に需要が広がるLNGの輸送をグローバルに提供するほか、LNGバリューチェーンにおける顧客ニーズへの対応にも取り組む。カーボンソリューション事業では、液化CO <sub>2</sub> 輸送船事業、洋上風力発電支援船事業（作業船・輸送船）などを推進。
	自動車船事業	1970年に日本初の自動車専用船を開発・運航開始以来、乗用車やトラックを中心に高品質な輸送サービスをグローバルに展開。また、約55年の歴史で培ったノウハウをもとにHigh & Heavy（建設機械、農機、鉄道車両などの背高重量貨物）の輸送強化も図る。2020年度よりLNG燃料自動車専用船を就航し、環境負荷低減にも配慮した船隊整備に取り組む。
	物流・港湾事業	"K" LINEグループ各社のノウハウとサービスネットワークを結集し、海上貨物輸送に加え航空貨物輸送、曳船、陸上輸送、倉庫事業、完成車の保管・プロセッシング・輸送サービスを提供する自動車物流など、お客さまのさまざまなニーズに応える総合物流事業を展開。また、国内4港（東京、横浜、大阪、神戸）でコンテナターミナルを運営。
	近海・内航事業	川崎近海汽船株式会社では、バイオマス発電所向け燃料輸送をはじめとするアジア発着の近海船、国内モーダルシフトを推進するRORO船やフェリー、鉄鋼向け石灰石専用船や電力向け石炭専用船などの内航船を運航。また、日本近海におけるオフショア支援船事業にも参入し事業の充実を図る。
その他	コンテナ船事業	コンテナ船事業は2018年4月以降、邦船3社で設立したOcean Network Express (ONE) に統合。2024年3月末時点で184万TEU・235隻のコンテナ船隊を運航し、世界120カ国以上をカバーする充実したサービスネットワークを通じて信頼性が高く迅速な国際輸送サービスを提供。
その他		船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業などを営む。

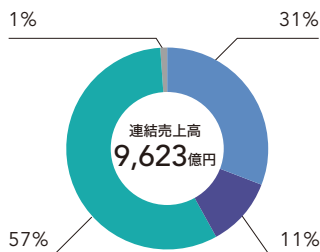
主な船型	主要貨物
ケープサイズ	鉄鉱石、原料炭、ボーキサイト
バナマックス	一般炭、鉄鉱石、穀物、塩、ニッケル、鋼材、アルミナなど
ハンディサイズ	
スモールハンディ	
チップ	木材チップなど

主な船型	従事する輸送
原油タンカー / VLCC	原油
原油タンカー / AFRAMAX	
LPG船	液化石油ガス（プロパン・ブタン）
LNG燃料供給船	船舶用LNG燃料
電力炭船	一般炭（発電用石炭）など
ドリルシップ	浮体式海洋掘削装置
FPSO	浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備
LNG船	液化天然ガス

主な船型	主要貨物
自動車専用船	一般車両（乗用車など）、大型車両（バス・トラックなど）、重車両・建設機械・農業機械、非自走貨物など
近海・内航船 RORO船	原料炭、石灰石、鋼材、バイオマス発電燃料、紙製品、業務用食品、建設資材など
コンテナ船	日用品など一般消費財、部品など工業製品、精密機器、加工済み食品、製材済みの木材、原材料素材などドライカーゴ、冷凍食品など

## 02. 事業別情報 | セグメント別情報とグループ運航船舶

### セグメント別売上高構成比(2023年度)

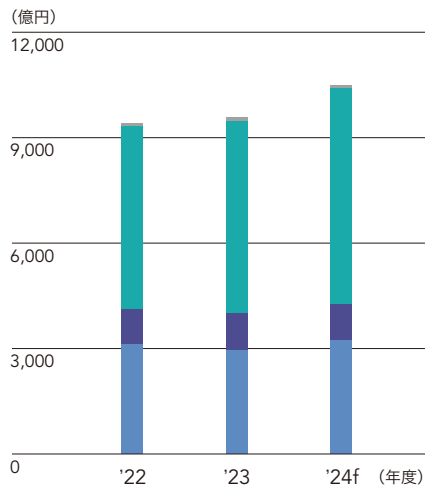


■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流 ■ その他

\*1 エネルギー資源セグメントには、油槽船・燃料、電力・海洋、LNG船、カーボンソリューション事業を含む。

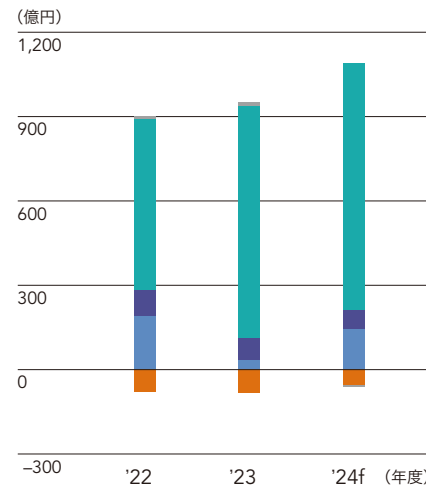
\*2 製品物流セグメントには、自動車船、物流、港湾、近海・内航、コンテナ船事業を含む。

### セグメント別 売上高



■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流 ■ その他

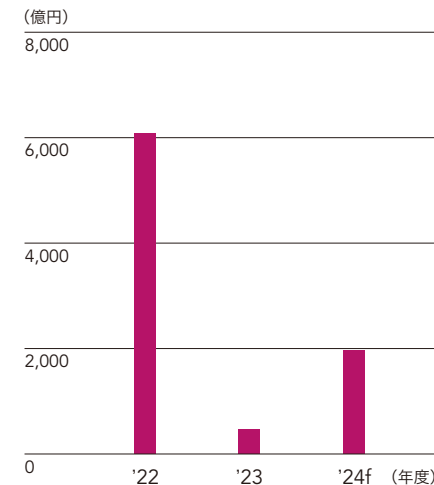
### セグメント別 経常損益(自営事業)



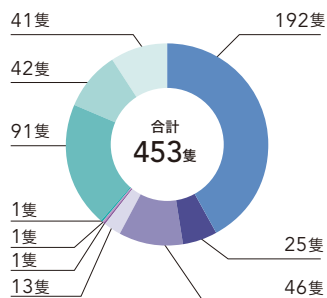
■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流(コンテナ船を除く) ■ その他 ■ 本部・調整

\* セグメント別売上高、セグメント別経常損益(自営事業)、コンテナ船事業経常損益の各2024年度予想は2025年2月時点。

### コンテナ船事業 経常損益



### グループ運航船舶隻数(2024年3月末)



■ ドライバルク ■ 電力炭船 ■ LNG船 ■ 油槽船 ■ ドリルシップ ■ FPSO ■ LNG燃料供給船 ■ 自動車船 ■ 近海・内航船 ■ コンテナ船

### グループ運航船舶推移

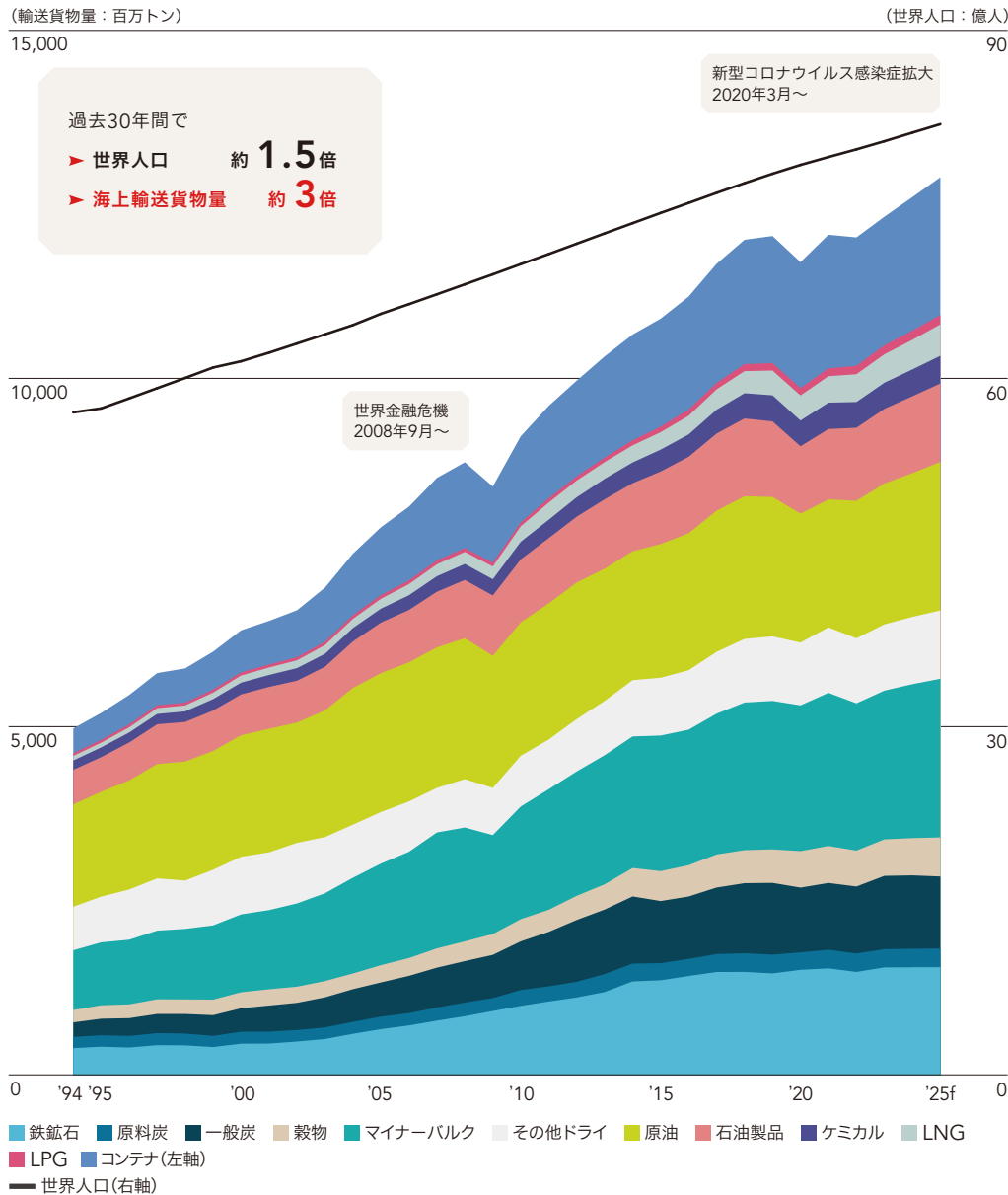
船種	2022年3月末時点				2023年3月末時点				2024年3月末時点									
	所有船		備船		合計		所有船		備船		合計		所有船		備船		合計	
	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	48	5,888,871	126	16,601,473	174	22,490,344	50	6,119,663	129	16,509,739	179	22,629,402	52	6,284,338	140	17,388,141	192	23,672,479
電力炭船	8	702,581	23	2,059,852	31	2,762,433	8	702,507	20	1,805,786	28	2,508,293	9	791,371	16	1,450,522	25	2,241,893
LNG船	41	3,499,795	2	152,272	43	3,652,067	43	3,590,640	1	77,163	44	3,667,803	44	3,636,087	2	153,909	46	3,789,996
油槽船	11	1,658,699	4	722,598	15	2,381,297	9	1,869,817	3	410,808	12	2,280,625	11	2,228,808	2	108,320	13	2,337,128
ドリルシップ	1	-	0	-	1	-	1	-	0	-	1	-	1	-	0	-	1	-
FPSO	1	-	0	-	1	-	1	-	0	-	1	-	1	-	0	-	1	-
LNG燃料供給船	1	2,431	0	-	1	2,431	1	2,431	0	-	1	2,431	1	2,431	0	-	1	2,431
自動車船	33	446,112	50	916,112	83	1,362,224	31	439,338	54	974,458	85	1,413,796	32	456,088	59	1,071,990	91	1,528,078
近海・内航船	25	233,488	19	255,558	44	489,046	24	234,374	18	171,304	42	405,678	23	178,484	19	167,300	42	345,784
コンテナ船	11	849,856	30	2,970,195	41	3,820,051	11	849,856	30	2,970,195	41	3,820,051	11	849,856	30	2,970,195	41	3,820,051
合計	180	13,281,833	254	23,678,060	434	36,959,893	179	13,808,626	255	22,919,453	434	36,728,079	185	14,427,463	268	23,310,377	453	37,737,840

\* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含んでいます。

\* 隻数には基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット備船も含まれます。

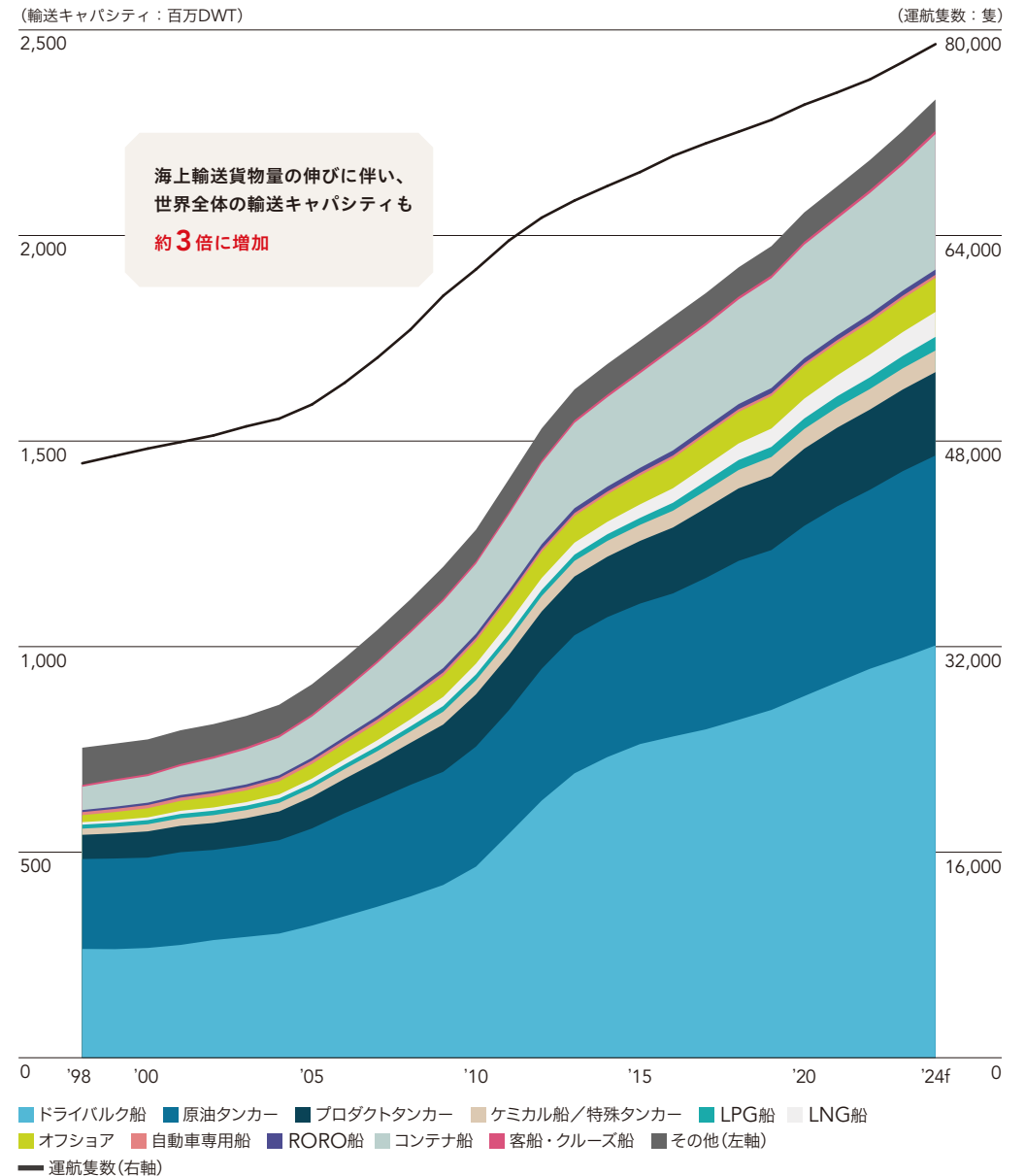
## 02. 事業別情報 | 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ

### 世界の主要海上輸送貨物量と世界人口



Shipping Review & Outlook March 2024、総務省データベースほかより当社作成

### 世界全体の輸送キャパシティと運航隻数



Shipping Review & Outlook March 2024より当社作成